



はんだ 市議会だより

議長に**鈴木幸彦氏**、副議長に**山本半治氏**を選出
議会選出監査委員は**竹内功治氏**
令和4年第5回臨時会にて就任



監査委員 (議会選出)
竹内 功治



議長
鈴木 幸彦



副議長
山本 半治

議長就任あいさつ

市民の皆様には、日頃より半田市議会に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

このたび、令和4年第5回半田市議会臨時会におきまして、議長の要職を務めさせていただきましたことになりました。副議長・監査委員とともに力をあわせて取り組んでまいります。

誠に身に余る光栄に感じますとともに、その責任の重さを痛感しております。市民の皆様のお力添えをいただきながら、この職責を全うしてまいります。

今年度は、本会議の生中継が始まり、また全議員がタブレットを導入し議会に挑む、半田市議会ICT化元年となります。時流に合わせて新しいことに挑戦する一年になりそうです。

その一方で、市民の皆様との顔の見える環境づくりとして、各種団体との意見交換やお出かけ委員会など、皆様からのお声が聴ける場に積極的に向かっていくことも考えております。

市民の皆様と対話する機会を多く持つことで議会への関心を高めていただくとともに、私たちのレベルアップを図ってまいりたいと思っております。

今年度もミズコロナが続く中で、通常通りにいかないことが予想されますが、どんな時でも「市民のために何がベストか」の視点を大切に議会運営に取り組んでまいります。

これまで諸先輩方が積み上げてこられた半田市議会の看板の重みを感じつつ、そしてその名を汚すことなく後世へ引き継いでいけるよう、日々精進していく決意でございます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



議長就任挨拶
(YouTube)

審 議 結 果 令和4年第5回臨時会(5月18日・19日)

■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
議案41	令和4年度半田市一般会計補正予算第2号 (総務：県営長根住宅自治会から要望のあった、ごみステーションに鍵付きの囲い5か所の設置費用を助成するもの 文教：60歳以上の方や18歳～60歳で基礎疾患のある方などを対象に、4回目のコロナワクチンを接種するもの)
議案45	半田市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について (パートタイム会計年度任用職員の期末手当の算定方法などを具体的に定めるもの)
議案46	半田市監査委員の選任について
議案47	半田市公平委員会の委員の選任について (藤田純代氏を選任するもの)
	議員の辞職について (中川健一議員(4期目)が令和4年5月18日をもって、半田市議会議員を辞職することについて)
	常任委員会委員の選任について
	議会運営委員会委員の選任について
	政治倫理審査会委員の選任について

■その他の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
報告2	半田市土地開発公社の経営状況について
	常任委員会の中間報告について (文教厚生委員会、建設産業委員会 ※報告内容は5ページに掲載)
	特別委員会の報告について (6次産業化調査特別委員会、定住人口増加策調査特別委員会 ※報告内容は6ページに掲載)

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。	創造みらい半田														公明党	志民ネット	チャレンジはんだ	自民クラブ	無所属	議決結果	
		渡邊	芳金	鈴木	岩田	竹内	沢田	石川	山田	坂井	山本	小中	小出	水野	伊藤	國弘	新美	嶋崎	加藤	中川		鈴木
		昭司	秀展	幸彦	玲子	功治	清勝	英之	清一	美穂	半治	和也	義一	尚美	正興	秀之	保博	昌弘	美幸	健一		健一
議案42	半田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について(人事院勧告による国家公務員の給与改定に基づき、議員の期末手当を引き下げるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決	
議案43	半田市特別職員の給与に関する条例の一部改正について(人事院勧告による国家公務員の給与改定に基づき、特別職員の期末手当を引き下げるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案44	半田市職員の給与に関する条例の一部改正について(人事院勧告による国家公務員の給与改定に基づき、市職員の期末手当を引き下げるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

■選挙結果について

選挙名等	選挙結果
議長の選挙について	【選挙方法】指名推選 鈴木 幸彦
副議長の選挙について	【選挙方法】指名推選 山本 半治
中部知多衛生組合議会議員の選挙について	【選挙方法】指名推選 國弘 秀之、芳金 秀展、鈴木 幸彦、坂井 美穂、山本 半治
知多中部広域事務組合議会議員の選挙について	【選挙方法】指名推選 新美 保博、鈴木 幸彦、山本 半治、渡邊 昭司、沢田 清石川 英之
半田常滑看護専門学校管理組合議会議員の選挙について	【選挙方法】指名推選 中村 和也、鈴木 幸彦、山本 半治、加藤 美幸
知多南部広域環境組合議会議員の選挙について	【選挙方法】指名推選 鈴木 幸彦、山田 清一、岩田 玲子



反対討論

議案42号・43号・44号に反対

鈴木健一議員

臨時国会が開かれなかったため、12月分の期末手当でマインス0・15月分を減額することが出来ず、今年6月の期末手当から減額する事は、不利益不遑及の原則に反するため、賛成できません。
職員の期末手当についても同様で、道理がありませんし、コロナ危機の中奮闘する職員の賃金を下げることは許されないと考え反対します。

常任委員会の構成 令和4年第5回臨時会(5月19日)において選任

◆総務委員会(7人)						
所管事項 企画部・総務部・市立半田病院・会計課・市議会事務局・選挙管理委員会・監査委員事務局・公平委員会の所管に属する事項/その他常任委員会の所管に属しない事項に関する審査を行います。						
委員長	委員					
山田 清一	中村 和也	嶋崎 昌弘	伊藤 正興	鈴木 幸彦	渡邊 昭司	石川 英之

◆文教厚生委員会(7人)						
所管事項 教育委員会・福祉部・子ども未来部の所管に属する事項に関する審査を行います。						
委員長	委員					
澤田 勝	水野 尚美	小出 義一	芳金 秀展	山本 半治	加藤 美幸	沢田 清

◆建設産業委員会(7人)						
所管事項 建設部・水道部・市民経済部・農業委員会の所管に属する事項に関する審査を行います。						
委員長	委員					
岩田 玲子	國弘 秀之	新美 保博	小栗 佳仁	坂井 美穂	鈴木 健一	竹内 功治

各種委員会の構成

議会運営委員会（7人）

- 委員長 沢田 清
- 副委員長 渡邊 昭司
- 委員 嶋崎 昌弘／伊藤 正興
- 小出 義一／坂井 美穂
- 石川 英之

政治倫理審査会（7人）

- 委員長 渡邊 昭司
- 副委員長 山田 清一
- 委員 新美 保博／水野 尚美
- 中村 和也／岩田 玲子
- 竹内 功治

政務活動費管理委員会（7人）

- 委員長 石川 英之
- 副委員長 國弘 秀之
- 委員 嶋崎 昌弘／中村 和也
- 坂井 美穂／渡邊 昭司
- 澤田 勝



半田市議会では、市民の皆様への情報発信を強化するために「広報」「広聴」「交流企画」の3つの委員会を編成しています。議長・副議長・監査委員を除く全議員がいずれかに所属し、さらに「開かれた議会」を目指していきます。

広聴委員会（6人）

- 市議会だよりの編集に関わる業務
- 委員長 加藤 美幸
- 副委員長 中村 和也
- 委員 伊藤 正興／芳金 秀展
- 山田 清一／澤田 勝

交流企画委員会（6人）

- 議会報告会の運営に関わる業務
- 委員長 小栗 佳仁
- 副委員長 坂井 美穂
- 委員 嶋崎 昌弘／國弘 秀之
- 渡邊 昭司／岩田 玲子

広報委員会（6人）

- 市議会だよりの編集に関わる業務
- 委員長 沢田 清
- 副委員長 小出 義一
- 委員 新美 保博／水野 尚美
- 鈴木 健一／石川 英之

半田市選出各組合議会

中部知多衛生組合議会

- 構成市町 半田市・常滑市・武豊町
- 國弘 秀之／芳金 秀展
- 鈴木 幸彦／坂井 美穂
- 山本 半治

知多中部広域事務組合議会

- 構成市町 半田市・東浦町
- 阿久比町・武豊町
- 新美 保博／鈴木 幸彦
- 山本 半治／渡邊 昭司
- 沢田 清／石川 英之

半田常滑看護専門学校管理組合議会

- 構成市町 半田市・常滑市
- 中村 和也／鈴木 幸彦
- 山本 半治／加藤 美幸

知多南部広域環境組合議会

- 構成市町 半田市・常滑市
- 南知多町・美浜町・武豊町
- 鈴木 幸彦／山田 清一
- 岩田 玲子



令和4年度議会選出各種委員等

衣浦港整備促進期成同盟会

- 委員 鈴木 幸彦／岩田 玲子

半田市都市計画審議会

- 委員 國弘 秀之／小栗 佳仁
- 山田 清一／加藤 美幸
- 澤田 勝

阿久比川水系改修期成同盟会

- 委員 國弘 秀之／鈴木 幸彦
- 山田 清一／山本 半治
- 岩田 玲子

知多地区道路整備促進期成同盟会

- 委員 鈴木 幸彦

衣浦大橋整備促進期成同盟会

- 委員 鈴木 幸彦

半田連続立体交差事業促進期成同盟会

- 顧問 鈴木 幸彦

矢作川境川流域下水道推進協議会

- 委員 鈴木 幸彦

半田市青少年問題協議会

- 委員 岩田 玲子

半田市地域公共交通会議

- 委員 渡邊 昭司

(氏名は議席番号順に掲載)

文教厚生委員会 活動報告 (要旨)

調査テーマ

「重層的支援体制整備事業について」

「相談支援の連携の推進について」

国は、令和2年度に社会福祉法を改正し、重層的支援体制整備事業を創設しました。

これは、相談を断らない包括的な支援体制をまち全体で構築し、制度の狭間にあるケアや、複合的な課題に対応するために、属性や世代を問わない包括的な相談受付のための「相談支援」、社会との繋がりをづくりを行う「参加支援」、住民同士が交流できる居場所の整備を行う「地域づくり支援」を一体的に推進することが求められます。

半田市は、令和5年度からの本格実施に向け準備を進めており、当委員会は、現況や課題から、この事業のあり方について調査・研究を行いました。

まず、実際に相談などの事業に携わる半田市社会福祉協議会を視察しました。

令和3年4月から開始した、アウトリーチ継続的支援事業は、専門相談員「コミュニケーションソーシャルワーカー（CSW）」を3名配置し、複合的な生活課題を抱える方や福祉制度の狭間で支援が届いていない方などの家庭へ出向いて相談支援を行うことが、早期の発見・対応に有効であるとのことでした。今後の課題として、十分な支援をするために、教育部門との連携体制の整備が重要とのことでした。

次に、日本福祉大学原田正樹教授を招いての勉強会では、これからは、個人から家庭を単位とした支援に切り替え、地域や事業所等の多種多様な機関との連携・協働が必須となるため、行政は企画・調整機能が求められるとのことでした。

神奈川県藤沢市、長

野県茅野市、富山県氷見市社会福祉協議会へは、質問事項を送付し、書面による調査を行いました。

以上の調査・研究から、次のとおり提言いたします。

一、将来を見据えて、充実した支援を実現するために、まずは、5つの中学校区にコミュニティソーシャルワーカーを各1名は配置すること。そのための財源の確保に努めること。

一、教育部門との連携が重要であるため、コミュニケーションソーシャルワーカーと、スクールソーシャルワーカーをはじめ職員を担った学校関係者との連携を推進する体制づくりを行うこと。

一、問題の早期発見が事態の重大化を防ぐために重要であることを市職員をはじめ市民全体に認識してもらい、地域で困っている方のSOSを拾える市民力の醸成と、それを解決できる行政組織の強化を図ること。

建設産業委員会 活動報告 (要旨)

調査テーマ

「ゼロカーボンシティを目指す第一歩」

「さらなるごみ減量に向けて」

近年、世界各地で気候変動問題が発生しており、我が国においても台風や集中豪雨などの自然災害の激甚化が顕著になってきています。そうした自然災害の頻発は、地球温暖化が原因であるとされており、地球温暖化対策は、私たちにとって喫緊の課題です。

こうした状況を踏まえ、2015年に合意されたパリ協定では「産業革命期からの平均気温の上昇幅を2度未満とし、1.5度に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く示されました。

これを受け、環境省も全国自治体に対して「2050年CO₂排出量実質ゼロ」を表明することを呼びかけて

います。本市もこの呼びかけに賛同し、令和2年2月20日の市長施政方針で、「2050年CO₂排出量実質ゼロ」に挑戦することの表明（通称ゼロカーボンシティ宣言）を行いました。

ゼロカーボンシティを実現するためには、実現可能な取組みを示し、市民や事業者との連携による消費エネルギーの実態や変化を共有する仕組みを構築するなど、エネルギーの見える化を進め、効果的に市民・事業者の省エネ行動を喚起する必要があります。

当委員会では、ビジョンの内容も踏まえ、ゼロカーボンシティ実現のために、半田市で本当に実現可能な取組みはなにか、また、気軽に取組みやすいごみ減量に焦点を当て、どのように行政と市民や事業者との協働によるゼロカーボンシティを実現するべきかを調査・研究をしてまいりました。

調査事項の先進地である埼玉県所沢市と川口市、神奈川県小田原市へは、質問事項を送付し、書面による調査を行いました。

その後、委員会での議論を経て、以下のよう提言いたします。

一、再生可能エネルギーの積極的導入を行うってください。

一、二酸化炭素削減のために、飛躍的に緑を増やしてください。

一、生ごみ処理の循環サイクルを構築してください。

一、給食の食物残渣ゼロを実現してください。

一、食品ロス削減に取組む店舗を、協力店として登録する制度を創設してください。

一、市主催のリユース事業を開催し、ごみ減量を推進してください。

6次産業化調査特別委員会活動報告 (要旨)

調査テーマ

「6次産業化を進めるための調査について」

半田市の農業生産高は、年間70億円あります。そのうち乳用牛の生産高は31億9千万円。豊橋市に次いで県下2位です。肉用牛の生産高も14億4千万円の生産高があり、県下有数の酪農地域となっています。乳牛は毎日約10万リットルの搾乳量がありながら、全てを市外へ出荷しています。また、肉牛は6000頭を肥育し、知多牛などのブランド化や6次産業化も行われていますが、市内での消費量は部に限られています。半田市は知多の畜産発祥地でありながら、地元資源を活用する仕組みができていません。6次産業化を進めると同時に、地元産の資源を市内で流通する仕組みを考える必要があります。また、付加価値の高い有機栽培や観光農園化

しているいちご農園など、6次産業化に取組む事例もあります。6次産業化などの農業支援や農業を軸とし、異業種が結びつく仕組みができれば、産業が大きく膨らむ可能性があります。

6次産業化調査特別委員会はこのような視点から、愛知県農業水産局農政部の所管課を通して県下の取組事例を学び、さらには先進地の富山県砺波市とリモートによる視察、愛知県の6次産業化プランナー経験者や生産現場に詳しい方々を講師に招いた勉強会、就農者との意見交換会などから、6次産業化の可能性と取組み方の研究を行っています。

農業の6次産業化を円滑にする第三步は、就農者の新たな取組みを気軽に相談できる窓口の設置です。そして、設置場所は半田市内である事と、専門知識を豊富に持っているアドバイザーの配置が重要です。次に、情報共有です。

意欲ある就農者がさまざまな情報を共有し、さらには活用につなげることができると、プラットホーム形成が必要です。

生産者が異業種と連携し、地域に馴染む6次産業化を目指していただけ、以下のおおりに提言します。

「6次産業化への支援や相談に対応できる新たな窓口を設置し、経験豊かな支援員を配置してください。更には、6次産業化事業者が多く輩出されるよう人材育成に取組んでください。

「生産者、企業、商店など地域が一体となったネットワークを構築し、新商品開発などの取組みを支援してください。」「市独自の販売場所を設けるなど、販売経路開拓の支援を行ってください。」



定住人口増加策調査特別委員会活動報告 (要旨)

調査テーマ

「定住人口の増加策について」

半田市の人口が長期的な視点では減少傾向となっていることが問題と捉え、鋭意調査を重ねてきました。

「人口」は、まちの活気を表す最も分かりやすい指標の一つです。人口が減少すると、まちの活力が失われ、やがては税収が減ります。税収が減ると、これまで行ってきた行政サービスや施設の維持・管理等が困難となってしま

う恐れもあり、人口減少問題は地方自治体にとって死活問題です。半田市の直近10年間の人口は、平成22年に12万人を超えた後、徐々に減少していましたが、令和元年度には再び12万人を超えるなど上昇傾向にあります。

しかし、新型コロナウイルスの蔓延により再び減少に転じており、「コロナ禍の影響が出始めた令和2年4月と直近の令和4年1月の人口を比べると、約700人の転出超過となっています。コロナ禍が終息すれば、人口の減少幅はある程度回復するかもしれませんが、一度減少した人口をもとに戻すのは容易なことではありません。また、長久手市や刈谷市、大府市など近隣では人口が増えている自治体もあるなか、半田市では減少傾向にあるということは「選ばれないまち」になりつつあるのではないかと、この懸念もあります。

今後、半田市が「選ばれるまち」になるためには、早い段階で定住人口の増加策を講じることで人口減少に歯止めをかけ、持続的なまちづくりを行っていく必要があるのではな

いかと考えました。これまでの調査を踏まえ、以下提言します。一、子ども支援に対す

る大胆な予算配分をしてください。一、子育て支援施設のあり方を抜本的に見直し、子育てしながら働き続けることができる環境を一層整備してください。今後は子どもを核としたまちづくりに取り組んでいる自治体のみが、まちとしての魅力を獲得し、競争優位に立ち、これからの時代に生き残っていくことができると期待をしております。

半田市はこれまでのまちづくりの発想をまさに今こそ転換するタイミングではないでしょうか。市長には当委員会の提言に対し本気になって取組んでいただけるものと大きな期待をしております。

半田市議会 会派の紹介

会派とは…

同じ志や政策を持つ2人以上の議員のグループのことです。

半田市議会基本条例の中で議員は議会活動を行うため、会派を結成することができると定めています。

会派は政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成し、議長や市長に政策の立案及び政策の提言をすることができます。

会派は、議会運営、政策立案等に関し、積極的に会派間で調整を行い、合意形成に努めています。



代表／石川英之 8名



無所属



代表／山田清一 3名



代表／小栗佳仁 3名



代表／新美保博 3名



代表／伊藤正興 3名

市議会の情報発信について

市民の皆さんに議会を身近に感じていただくための発信方法が増えます。本会議をぜひご覧ください。

傍 聴

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日、市役所庁舎5階の傍聴ロビーの受付で手続きを行ってください。
(氏名、住所、電話番号を記入していただきます)

NEW インターネット中継 ※現在、準備中です

令和4年9月定例会より本会議の様子がライブ中継で視聴できるようになります。会場にお越しただけなくても、インターネット環境があればご自宅のパソコン、スマートフォン等から議会中継を視聴できます。

動画配信 ※翌日以降の配信になります。

録画映像（一般質問、代表質問、市長施政方針など）をご覧ください。
 ・ケーブルテレビCAC
 ・動画配信サイトYouTube からご覧ください。

YouTubeからの視聴方法

右のQRコードからアクセスいただくか、YouTubeサイトにおいて「半田市議会」と検索してください。



半田市議会 (YouTube)

今後の本会議の開催予定

9月定例会の日程

令和4年8月30日(火)～9月28日(水)



議会本会議の予定へ

あ と が き

半田・亀崎・成岩の3町が合併し、半田市が誕生したのは昭和12年10月。今年には85周年を迎えますが、戦争や幾多の災害からの復興を遂げた、先人達に感謝申し上げます。

当時の人口は、約5万人。85年を経て、人口は約2倍を超えました。

市議会は、市政を厳しくチェックし、この市議会だよりにて、その経過や結果を正しく、わかりやすくお伝えしていきます。

今号より新しいメンバーが担当します。よろしくお願ひします。

広 報 委 員 会

- 委員長 加藤 美幸
- 副委員長 中村 和也
- 委員 伊藤 正興／芳金 秀展
- 委員 山田 清一／澤田 勝

編 集 ・ 発 行 半 田 市 議 会

〒475-1866
 半田市東洋町2-1
 TEL 0569-184-1069
 FAX 0569-124-1718
 E-mail: gjij@city.handa.lg.jp



QRコードはQRデンソーウェブの登録商標です。

半田市議会へ